

一般財団法人 国際情報化協力センター（以下 CICC）は、ミャンマートップレベルの IT 系大学からの要請に基づき、日系の IT 企業へのインターンシップ支援を今年度も継続して実施し、ミャンマーとの IT 人材分野での協力を促進して参ります。

永年にわたるミャンマーへの IT 人材育成支援等により、ミャンマーコンピュータ協会(MCF)やミャンマー IT 系大学から多大な信頼を得ている CICC は、以下の内容でインターン生受け入れ支援を致します。ミャンマーとの IT 分野での協力を資する本件の趣旨に賛同し、インターン生の受け入れを検討して頂ける IT 関連企業の皆様からの御連絡をお待ちしております。

【来年度(2018-2019 年度)インターンシップ支援計画概要】

1. インターン生： 5 年制のヤンゴン情報技術大学(UIT)、ヤンゴンコンピュータ大学(UCSY)、マンダレーコンピュータ大学(UCSM)及び6年制の工科大学ヤタナポーンサイバーシティ(UTYCC)、西ヤンゴン工科大学(WYTU) IT 学部を卒業予定の学生で、卒業後は日系企業での勤務を強く希望し、日本語の勉強を行う意思を持ち、且つ学長からの推薦を得た者。なお、新設校である5年制のミャンマー情報技術大学(MIIT)については、最年長4年生の学生を対象。
2. 受け入れ企業： 賛助会員企業等
(受け入れ先の所在地は日本、ミャンマー、他のアセアン各国を問わない)
3. 受け入れ期間：(1) UIT の学生：約 4 ヶ月間 (2019 年 5 月から 8 月末)
(2) UCSY の学生：約 3 ヶ月間 (2019 年 5 月から 7 月末)
(3) WYTU の学生：最低約 2 ヶ月間 (2019 年 6 月から 10 月の間)
(4) UCSM の学生：約 3 ヶ月間 (2019 年 5 月から 7 月末)
(5) UTYCC の学生：約 2 ヶ月間 (2019 年 5 月から 10 月の間)
(6) MIIT の学生 (4 年生)：約 1 ヶ月間 (2019 年 5 月から 10 月の間)
4. マッチング： 企業からの受け入れ条件を踏まえ、大学側で候補者を絞り込み、企業が現地での対面式面接を行う。(2018 年 12 月から 2019 年 2 月を予定)
5. CICC 支援内容：

CICC の標準支援内容		備考 (【】内は企業の自己負担。CICC が斡旋可)
全工程管理	・全工程の管理、調整	・本インターンシップの全工程において企業、大学、学生間の調整を図る ・リモートインターンシップの場合、勤休を報告 (注 1)
企業紹介	・大学に対し、企業パンフレット等により企業を紹介	・【英語版の企業紹介パンフレットの作成】
企業の大学訪問	・訪問調整、アポ取り	・【企業の担当者等のミャンマーへの出張・面談】
インターン生選抜	・面接希望学生、面接日時、場所の手配 ・面接時の通訳手配	・企業が現地で行う対面式面接の手配を行う ・必要に応じ面接当日には日-緬の通訳を用意
3 者間契約	・企業、大学、学生間の契約締結支援	・インターン期間、処遇、報告内容、頻度等の約束事項 ・本契約は渡航 VISA の必要書類となる。
日本語研修	・インターン前の入門研修	・初級日本語研修を大学設備、現地人講師により実施
	・インターン期間中の中級研修	・ヤンゴンの契約日本語学校にて日本人講師による本格的な日本語特訓教育を行い、N4 合格を目指す
	・インターン後から入社前までの上級研修	・【ヤンゴンの契約日本語学校での日本語特訓を継続し、N2 合格を目指す】

渡航準備	・VISA 申請書類作成支援	・企業、大学、学生のそれぞれが準備すべき書類を準備し、在ミャンマー日本国大使館にて申請
インターン生への支援	・インターン期間中の研修支援	・【リモートインターンシップの場合は、CICC 契約企業が研修場所、設備を確保。日本語補講、メンタリングを実施】 ・インターン成果発表指導
	・インターン後から入社前までのフォローアップ	・【CICC 契約企業が研修場所、設備を確保。日本語補講、メンタリング、ビジネスマナー研修、VISA 手配等を実施、正式入社までのフォローアップ】

6. 企業側負担（对学生）：

インターン先 大学名	ミャンマー国外 (日本、他のアセアン各国)	ミャンマー国内
UIT	・渡航費(旅行保険付き) ・滞在費実費 ・通勤費実費 ・生活費(交通費、食費等、額は別途、個別に設定可) (月 2 万円目安)	・生活費(交通費、食費等、最低月 15 万 MMK)を希望
UCSY		・日々の交通費、食費、日当の中から支給可能な項目を企業が選択。額は企業側で設定可。(注 2)
WYTU、 UCSM、UTYCC		・日当の支給が必要。額は企業側で設定可。(注 2)

* MIIT のインターンシップに係る企業負担については調査中。

(注 1)：リモートインターンシップ：本邦等に 3~4 ヶ月滞在してインターンを行う方式に対し、本方式は、インターンシップの初期、及び終期にのみ本邦に滞在し、その他の期間はミャンマー現地で、各企業の業務を実習する研修形態。現地での研修期間中は、CICC が契約したリモートインターンシップ請負企業の施設で研修を行う。これによりインターン生の日本での滞在費等を節約し、企業側の費用負担を軽減する。

(注 2)：UIT 以外の学生を UIT の学生と同時に受け入れる場合、UIT の学生と同じ生活費を支給すること。

UIT : ヤンゴン情報技術大学、University of Information Technology
 UTYCC : 工科大学ヤタナボンサイバーシティ、University of Technology(Yatanarpon Cyber City)
 UCSY : ヤンゴンコンピュータ大学、University of Computer Studies, Yangon
 WYTU : 西ヤンゴン工科大学、West Yangon Technological University
 UCSM : マンダレーコンピュータ大学、University of Computer Studies, Mandalay
 MIIT : ミャンマー情報技術大学、Myanmar Institute of Information Technology

【今年度(2017-2018 年度)インターンシップ支援実績】

受け入れ企業 (賛助会員)	インターン期間	インターン 派遣大学	インターン 採用数	JLPT 模試 合格者	企業内定 受領者
A 社	2018年6月~9月末	UIT	3名	N4 : 3名	3名
B 社	2018年5月~8月末 (3名)	UCSY	9名	N4 : 9名	9名
	2018年6月~9月末 (4名)	UIT			
	2018年6月~9月末 (2名)	UTYCC			
C 社	2018年6月~9月末	UIT	2名	N4 : 2名	2名

【その他】

- ・インターンシップはあくまでも教育の一環であり、受入先での雇用を約束するものではありません。

【本件に関するお問い合わせ先】

一般財団法人 国際情報化協力センター (CICC) 協力事業部：篠原

TEL : 03-5807-5041 E-mail: shinohara-kazuhiro@net.cicc.or.jp

URL : <http://www.cicc.or.jp>